

# アパマンオーナーの皆様方へのお知らせとお願い!

## — 東京電力の検針メーターが新型に変更となります —

近年ITの進化はめざましく、あらゆる物がインターネットを介して様々な新しいシステムとして確立してきたことは、他のページでもご紹介したとおりです。例にもれずインフラ(都市基盤の事で電気・ガス・上下水道等々)の世界もメーター検針や使用契約の停止・開始手続き等が全て東京電力のオペレーターがセンターの方でPCのボタン一つでオペレーションできるようになってきております。これは正にIoT(物のインターネット)であり、右側写真にもあります様に、少しずつ従来の電気検針メーターから新型のスマート検針メーターへと変更が進行しているからなのです。つまり、この変更がなされたスマートメーターになってしまうと、前契約者が解約時に電気の停止手続きをした場合、オペレーションセンターの方で通電を完全にストップしてしまうことができるようになってしまったのです。従来の場合は、停止手続きをしてもブレーカーを下げて受付終了だったために、ブレーカーを上げることで電気は使用できたのです。しかし新型のスマートメーターの場合は、新たに誰かの名義で契約しない限り電気は使用できなくなってしまったのです。もちろんリフォーム工事の時はリフォーム業者の名義で通電契約をしてもらい、工事を実施して頂くことになるのですが、工事が終了し、電気の契約解除後は、電気を使用できない状態になってしまいます。せっかくリフォームで綺麗になったお部屋のご案内を、懐中電灯で見せするなんて前代未聞の状態になってしまうことさえあるのです。したがって、今後成約迄の期間については、各アパ・マンのオーナー様名義で通電契約をして頂くこととなりますので(空室保証契約の場合は除く)、ご理解・ご協力を賜ります様お願い申し上げます。



# 東京電力



(従来の電気検針メーター)



(新型スマートメーター)

